

事業所名

児童発達支援ひかり（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2024年4月1日

法人（事業所）理念		私たちの目指すものは、お子様の安心できる場所づくりであり、お子様の「できる」を伸ばすことであり、その中で楽しみを一緒にみつけることです。		
支援方針		身体機能に制約があるお子さんも、その機能を少しでも高められるようにサポートし、お子さんが楽しく集団療育に参加し、様々な体験を増やせるような活動をしています。		
営業時間		9時から18時まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の生活リズムを整えるために、定期的に通所を行い、水分摂取やおやつ等の摂取ができるように、一人一人の健康状態に応じた適切な介助を行う。</li> <li>・特に医療ケアが必要なお子さんに対しては、ご家族と連携して、子どもの体調や変化を把握し、状態に応じた医療ケアを実施する。</li> <li>・季節の行事に合わせた遊びを取り入れ、一人一人のオリジナルの製作活動を行い、生活を楽しくするように支援する。</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時の姿勢に注意し、適切な装具を使用する。</li> <li>・一人一人の身体の感覚機能に働きかけられるような遊びを提供し、様々な体験ができるように支援する。（心理士による専門的支援）</li> <li>・感覚過敏、または感覚鈍麻など感覚の偏りに対して、環境調整など考慮して支援する。</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合わせた壁面装飾で、子どもにわかりやすく療育プログラムを示す。</li> <li>・季節の音楽や歌など、子どもが認知しやすい感覚を刺激する療育を行う。</li> <li>・視覚、聴覚だけではわかりにくいお子さんに対しては、様々なものに触れて、それを知ることで認知機能の発達を促していく。</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードや、ジェスチャーなどで、子どもの状況に合わせたコミュニケーションの方法をとり、子どもの表情や態度などで伝わる体験ができるように支援する。</li> <li>・ご家族と連携して、お子さんの表現方法を共有し、コミュニケーション能力を高められるように支援する。（心理士による専門的支援）</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まりの会や集団療育で、様々な年齢のお子さんとの関りをもてるような支援をする。</li> <li>・デイサービスに通うことで、スタッフをはじめ様々な人との関わりを経験する。</li> <li>・遊びを通じた個別の関りで、人との関わり方を体感する。（心理士による専門的支援）</li> </ul>		
家族支援		ご家族からの相談等があった場合には、個別に電話やLINE等ですぐに対応している。また、本人中心支援会議や、デイサービスで行っている年1回の個人懇談でも対応している。	移行支援	地域と連携して、事業所以外での活動を知り、様々な活動に合わせた支援を行う。
地域支援・地域連携		本人中心会議において、子どもが利用できる福祉サービスとの連携を図る。また、地域の公園や施設、イベントに積極的に参加している。	職員の質の向上	社内、社外での研修に参加し、障害のある子どもを支援するにふさわしい知識と技術を習得するように心がけている。
主な行事等		あつまりの会、季節の製作活動、感覚系遊び、知育系遊び、コンサート参加、スノーズレン、体験型の外出		

事業所名

児童発達支援ひかり（放課後デイ）

支援プログラム

作成日

2024年4月1日

法人（事業所）理念		私たちの目指すものは、お子様の安心できる場所づくりであり、お子様の「できる」を伸ばすことであり、その中で楽しみを一緒にみつけることです。		
支援方針		身体機能に制約があるお子さんも、その機能を少しでも高められるようにサポートし、お子さんが楽しく集団療育に参加し、様々な体験を増やせるような活動をしています。		
営業時間		9時から18時まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の生活リズムを整えるために、定期的に通所を行い、水分摂取やおやつ等の摂取ができるように、一人一人の健康状態に応じた適切な介助を行う。</li> <li>・特に医療ケアが必要なお子さんに対しては、学校やご家族と連携して、子どもの体調や変化を把握し、状態に応じた医療ケアを実施する。</li> <li>・季節の行事に合わせた遊びを取り入れ、一人一人のオリジナルの製作活動を行い、生活を楽しくめるように支援する。</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時の姿勢に注意し、適切な装具を使用する。</li> <li>・一人一人の身体の感覚機能に働きかけられるような遊びを提供し、様々な体験ができるように支援する。（心理士による専門的支援）</li> <li>・感覚過敏、または感覚鈍麻など感覚の偏りに対して、環境調整など考慮して支援する。</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合わせた壁面装飾で、子どもにわかりやすく療育プログラムを示す。</li> <li>・季節の音楽や歌など、子どもが認知しやすい感覚を刺激する療育を行う。</li> <li>・視覚、聴覚だけではわかりにくいお子さんに対しては、様々なものに触れて、それを知ることで認知機能の発達を促していく。</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードや、ジェスチャーなどで、子どもの状況に合わせたコミュニケーションの方法をとり、子どもの表情や態度などで伝わる体験ができるように支援する。</li> <li>・学校やご家族と連携して、お子さんの表現方法を共有し、コミュニケーション能力を高められるように支援する。（心理士による専門的支援）</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まりの会や集団療育で、様々な年齢のお子さんとの関りをもてるような支援をする。</li> <li>・デイサービスに通うことで、スタッフをはじめ様々な人との関わりを経験する。</li> <li>・遊びを通じた個別の関りで、人との関わり方を体感する。（心理士による専門的支援）</li> </ul>		
家族支援		ご家族からの相談等があった場合には、個別に電話やLINE等ですぐに対応している。また、本人中心支援会議や、デイサービスで行っている年1回の個人懇談でも対応している。	移行支援	学校や地域と連携して、事業所以外での活動を知り、様々な活動に合わせた支援を行う。
地域支援・地域連携		本人中心会議において、子どもが利用できる福祉サービスとの連携を図る。また、地域の公園や施設、イベントに積極的に参加している。	職員の質の向上	社内、社外での研修に参加し、障害のある子どもを支援するにふさわしい知識と技術を習得するように心がけている。
主な行事等		あつまりの会、季節の製作活動、感覚系遊び、知育系遊び、コンサート参加、スノーズレン、体験型の外出		